

■ はじめに

副委員長 長瀬 八州余

20年周年記念事業で思ったこと

平成20年度は女性委員会20周年の記念事業がありました。

「女性委員会20年のあゆみ～活動報告～」の発行をおこなうにあたり、今までの広報誌「女性委員会だより」のバックナンバーを見る機会がありました。

今私たちが、女性委員として活動していただけるのも今までの活動の積み重ねがあつてのことなのだと再確認しました。

今回「女性委員会20年のあゆみ～活動報告～」を作成にすることができたのも、各歴代の委員長さん等が広報誌・その他を残ってくださっていたからです。

女性委員会だより「らくだ」を通して、皆さんに女性委員会の活動を広報すると共に、記録を残していくという意味からも「らくだ」を作っていくことは大切な事だと思いました。

そして、女性委員会に参加し活動することは、その時その時でやり方は違っていても、この会に参加することで少しでも自分を高めることができるようにすることだとも思いました。

☆:☆。*:.°☆。.:*.:☆:☆。*:.°:☆。*:.°☆。.:

■ 今回の記事

- はじめに
- 今後の予定・お知らせ
- 全国大会とくしま大会報告
- 建築文化講演会報告
- 気楽にらくだ会(20周年記念)報告
- 見学会報告
- 東海北陸ブロック静岡大会報告
- 編集後記

■ 今後の予定・お知らせ

- ◆東海北陸女性建築士連絡協議会
日時:6月27日(土)
会場:三重県 六華苑
- ◆全国女性建築士連絡協議会
日時:7月17日(金)・18日(土)
会場:長野県

■ 同封書類

- 年間スケジュール

■ 第 51 回建築士会全国大会 「とくしま大会」報告

日時:平成 20 年 10 月 25(土)・26(日)
会場:アスティーとくしま
(徳島市山城町東浜傍示1 TEL(088)624-5111)

■ 第51回建築士会全国大会「とくしま大会」に参加して 津川 文江



平成 20 年 10 月 25・26 日に 徳島県徳島市において第 51 回建築士会全国大会が行われ、私達女性委員会から 3 名参加しました。徳島県における「阿波おどり」は四百年の歴史をもち 踊りのグループを「連(れん)」と呼ぶそうです。テーマは「阿波の地で連(REN)に学ぶ」でした。このおどりの連の姿は、今後建築士が取り組むべき課題であると考えられるそうです。連「REN」とは、「ネットワークにより活気づく地域 (Region Encouraged by Network)」との思いを重ね合わせ、地域の活性化をめざした建築士と市民、NPO や行政など、多様な主体からなる協働型ネットワークを意味するそうです。

まちづくり交流プラザにおいて、例年、全国女性建築士連絡協議会の行っている素材についての問題「クイズ 知ってるつもり」に11時45分より12時45分まで参加しました。



その後、昼食をとり交流プラザのものづくり連 まちづくり連 くらしづくり連の見学をしました。特に、くらしづくり連の中の「家具が凶器になる」社)兵庫県建築士会 E-D 減災研究会

のブースでは 多くの人が立ち止まって地震時の家具の移動や倒れてくる家具の怖さの内容に聞き入っていました。

15時より大会の開会式に参加、アトラクションでは、阿波踊りをみました。

その後 18 時半より新町水際公園にて夜空を見ながらのコラボパーティー(交流懇親会)参加しました。

■ 「とくしま大会」に参加して 式典報告

小林 教子

大会式典はアスティーとくしまの多目的ホールにて開催されました。同施設内のクイズ知ってるつもりに参加し、まちづくり交流プラザのブースを覗いた後式典の会場にはいりました。

開催主催県の建築士会会長や知事の歓迎の言葉、連合会長と来賓の挨拶、そして表彰などいつもの式典の行事と大会アピールが滞りなく行われ、つづいてステージ上で阿波踊りが披露されました。連と呼ばれる踊りのグループにより、男踊り女踊りが交互に、そして入り乱れて賑やかに、またときにはしっとりとしてステージ上でくり広げられ、2 階席にいた私たちもその熱気が伝わってきましたし、スクリーン上で詳細も楽しむことが出来ました。これは余談ですが、アスティーとくしまの玄関先ではポスターのモデルの女性たちと記念写真を撮っている全国の方々が多数いましたが、そのモデルさんの背の高いこと 180cm 以上でしょうか？下駄を履いているので 190cm を超えており、すごくすらっとして素敵でした。



ステージ上は阿波踊り



恒例のお弁当

続いて、全国からの参加者の紹介が順次客席を回りました。その時間になると客席が淋しくなるのが残念です。最後に、次年度開催県の山形建築士会の方々が、武者姿でやまがた大会のアピールをして式典は終了しました。

引き続き行われた懇親会は新町川水際公園にて屋外で開催されました。ボードウオーク上では順次ジャズなどのバンド演奏がされていましたが、会場が川に沿って両岸で長く伸びており、端のほうにいた私たちには伝わってきませんでした。屋台にドリンクや食べ物をもらいに行く時にその雰囲気や少し味わうことが出来ました。幸い天候に恵まれ無事懇親会を終了しましたが、雨天の場合は近くにあるアーケード街で行う予定であったそうです。帰り道にそこを通りましたが、大会とのコラボレーションで店舗のいくつかが営業しており、お薄を頂いて帰りました。



■ 全国大会「とくしま大会」エキスカンションに参加して 長瀬 八州余

平成20年10月25日(土)に開催されました全国大会「とくしま大会」全体会議に続き、二日目の26日(日)エキスカンションに参加しました。5コースの内から私たち岐阜県建築士会女性委員3名は、Bコースの「二つのうだつそれぞれのまちなみ探訪」に参加しました。

当日は朝から雨降りので外歩きには辛いなあと思いましたが、途中から雨は止み傘を差すこともなく歩くことが出来ました。

このコースには広島、愛知、京都、熊本、山口、奈良、東京、千葉、岐阜と多くの地域から44名の参加があり、バス2台での移動となりました。

JR 徳島駅から最初の見学地「貞光二層うだつの町並み」へ向かいました。バスの中で今日の見学等についての説明を受けました。

現地に着いて「貞光二層うだつの町並み」の説明はつぎ町役場の土会の方がしてくださいました。貞光は江戸中期以降の郷町で商業と交通の要衝として栄えてきました。昭和30年頃まで、山村の葉煙草の収納、繭・こんにゃくの収穫と引き替えに、農具、日用品、薬品などを購入する人々で賑わいをみせていて、脇町と並んで二大商業地を形成していました。

ここ貞光には通りに面して町営住宅があり、条例に則って立面のデザインは町並みの雰囲気合ったものになっていました。観光を全面に出していないので、うだつの家でも喫茶店とかお土産屋さんではなく、電化屋とか、金物屋さんとか普通のお商売をしています。



次の見学地「脇町うだつの町並み」へ向かう途中での昼食は、名物の半田そうめん(普通のそうめんと比べて太いのが特徴)と阿波尾鶏(徳島で生まれた地鶏)の定食でした。おいしかったです。

「脇町うだつの町並み」ではボランティアガイドの人の説明を聞きながらの見学でした。

美馬町脇町は江戸時代から明治期にかけて阿波藍の集散地として栄えこの一帯は河川交易に玄関口で、重要伝統的建造物群保存地区の指定を昭和63年12月に全国で28カ所目として受けました。

ボランティアガイドの人が着ている半被は藍で染めてあるので、今回案内をしてくださったご婦人は帽子も藍染めのものを被ってみました。



脇町指定文化財(平成11年指定)「吉田家住宅 藍商佐直」は約5億円の費用をかけて改修したということです。藍商とは藍染めの原料を販売する商人で、佐直は屋号です。吉野川流域は藍草の一大産地をして発展しましたが、中流域以西では、その集散地として脇町が中心となり、佐直は脇町で一、二の豪商であったそうです。

今回のお話で初めて知ったのですが、瓦の修理で外観上大事な部分は、下ろして綺麗に洗って、色を見ながら元に戻すのだそうです。私は全て新しいものに変えているのだとばかり思っていたので、本当に手間がかかっているということを知りました。



脇町は観光を全面に出しているのですが、近くのショッピングセンターもうだつの町並みの雰囲気を壊さないようにデザインされていました。

どちらの地区もそうなのですが、補助が出るとはいっても全額ではないので、個人の負担が大きく、改修を進めていくのは大変だということでした。

見学終了後バスは JR 徳島駅と空港への二通りのルートで帰路に着くのですが、私たち3名は美馬町の JR 穴吹駅で電車に乗る手はずにしていました。電車の時間に合わせて見学後タクシー等で移動しようと思っていましたので、土会の担当の方に話したところ、徳島土会の方で帰り道の方がいるので送っていきましょうということで時間に間に合うように駅まで送っていただき、本当に助かりました。

今回の全国大会では多くの方に助けていただき、よい思い出を作ることが出来ました。本当にありがとうございました。

■建築文化講演会

日時:平成 20 年 9 月 27 日(土)14:00~16:00
会場:岐阜県未来会館 ハイビジョンホール
(岐阜市学園町3-42 電話058-293-0888)

講師:建築家 堀部安嗣(ほりべ・やすし)氏
演題:『思考の軌跡をたどりながら』



長瀬 八州余

会場がほとんど満席の状態での開演となりました。
多くの方のご来場ありがとうございました。
(入場者 210名余)

講演後、質疑応答の時間を設けたのですが、今までになく多くの方が質疑をして下さいました。
巾木や額縁を使っていないがどうですかという質問に、
「やはり使った方が良いとは思いますが、今では意地になってやっています。」
天井がすっきりしているのは何故かと思うと、照明器具が少ないように思うのですがという照明についての質問には、
「最低限の照明だけを使うようにしています。施主からは暗いと言われたことはほとんど無いです。
活字を読んだり、食事をしたりする照明が必要な場所には照明を設けますが、全体を明るくする必要はないと思っています。
壁の色を白くしたり、使う素材によっても違ってきます。」
ご自宅ではどのような住まい方をされて居るのでしょうかという質問については
「自分の住まいについては全くの無頓着です。
リラックスの仕方としては音楽をよく聞いています。」
建築の事についてというよりも、先生個人についての質問が多かったように思いました。

■平成 20 年度気楽にらくだ会

& 20 周年記念事業

日時:平成 21 年 1 月 17 日(土)
会場:後楽荘 燈くら(ともくら)
(岐阜市本町1-31 TEL058-264-0027)

お礼と報告

委員長 下川 滝美

20周年記念事業を後楽荘においてとても和やかな雰囲気の中行うことができました。
皆さんの協力のおかげだと感謝しております。
ありがとうございました。

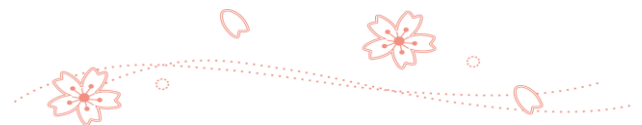
藤井会長様はじめ水谷副会長様、河野副会長様にも参加していただき、歴代の委員長様も揃ってお集りいただき女性委員会への励ましのお言葉などもいただきました。

第二部の講演会では、文化財について私たちの住んでいる地域に合わせての説明をしていただけて今後の建物調査も興味をもって見るきっかけを与えていただきました。

女性委員会20年のあゆみ～活動報告～

冊子・CDを作成いたしました。
資料の協力を皆様にお願ひしたところ多くの方のご協力を頂き完成させる事ができました。
建築ニュースぎふ56号で報告させていただきました。

20周年事業委員の宇佐美さん、津川さん、らくだ会の担当の飯沼さん、高野さん。それからあゆみCD担当の長瀬さん本当に御苦労さまでした。





集合写真

〔一部〕

会長挨拶
顧問挨拶
委員長挨拶
自己紹介
乾杯

昼食しながら歓談

〔二部〕

講演会

講師：館 龍午氏

(岐阜県教育委員会 社会教育文化課 伝統文化財担当)

講演テーマ：岐阜県の伝統建築

長瀬 八州余

当日はお天気も良く、15名の方の参加を得て「気楽にらくだ会」と女性委員会20周年記念事業をおこなうことができました。

2代前の女性委員会担当理事が現士会会長の藤井さんと、前担当が河野さんと、現担当が水谷さんと3名の理事の方が出席して下さいました。

委員長も全員の方が集まって下さり本当にありがたいことだと感謝いたします。

食事の間、今までの活動を写した写真を流しました。活動歴の浅い私には興味深いものでした。

県の出前講座を活用して、二部の講演会はおこなわれました。

講師の館さんは「今は教育委員会に所属ですが前任は高校の教師でお話することは困らないのですが、専門の方を前にして何を話せばいいのか困りました」とおっしゃっていましたが、文化財についてのお話で、私にとっては知らないことばかりで、有意義な講演会でした。

美味しい物を頂いて、皆さんと歓談して、楽しい時間を過ごすことができ、有意義な一日を過ごすことができ、ありがとうございました。

■ ぎふ川原町散策と水琴亭見学に参加して

長瀬 八州余

平成21年3月28日(土)に女性委員会20周年記念事業の第2弾として、「ぎふ川原町散策と水琴亭見学」がおこなわれました。今回は初めて岐阜インテリアコーディネータークラブとの協賛での見学会で、参加者15名でした。3月下旬にしては少し寒い気温ではありましたが外歩きには丁度良かったかもしれません。



「川原町屋」に集合してトラス岐阜の河崎氏より川原町の説明を受けます。歴史的な事から町並み保存に至った経緯とか今後の課題など盛りだくさんでした。パンフレットを見ながら河崎氏を先頭に町並み散策です。個人で来たなら入らないような路地を通って行きます。地元の人ならではの案内です。

道が綺麗になって、標識も整備されてきており、岐阜市が観光に力を入れていることがわかります。これも地元の人たちの努力があってこそだと思いました。

昼食は料亭「水琴亭」で頂きます。目に綺麗で味も良く美味しかったです。

午後からはトラス岐阜の加藤氏が水琴亭、原三溪等の説明をして下さいました。

今回は、普段入ることができない2階を見学することができました。原三溪直筆の綺麗なすっきりとした襖絵があります。後世に残さなくてはいけない建物であると思いますが、個人で維持管理していくことは本当に大変な事だろうと思いました。

他団体とご一緒できて意見交換などもでき、楽しい見学会になりました。



**■ 建築士東海北陸ブロック会青年建築士協議会
女性建築士協議会
平成20年度後期ブロック静岡大会報告**

日時：平成21年2月21日～22日

会場：ヤマハリゾートつま恋

(静岡県掛川市満水2000番地 Tel0537-24-1111)

下川 滝美

●全体を通して

当日の天気はとても良くつま恋までの道路沿いには河津桜が咲いておりとても穏やかな日でした。風は強いのですが冷たい風ではなく気持ちの良い風が吹いていました。



名古屋を10時27分のこだまに乗り掛川に11時30分。会場には12時前には着いていました。岐阜からの交通の便は良く比較的楽に移動ができました。富山の方はバスで来ていましたが朝3時半に起きたと言われておられました。

ヤマハリゾート「つま恋」は、自然環境豊かな広大な敷地に、スポーツ施設、アミューズメント施設、ウエディング施設、音楽施設、温泉施設、会議・研修施設、カルチャー施設、エステ・ボディケア施設、宿泊施設、レストラン・パーティー・宴会場などがありました。また利用したい施設でした。

開会式は13時から始まり岐阜からは藤井会長も来賓として挨拶されました。

分科会は14時～16時まで行われました。

今回は新しい試みで3つの分科会形式を採用しての研修でした。

第1分科会(地域貢献活動発表会) 事例発表県：静岡県 石川県 福井県

第2分科会「モノモノ=みんなのトイレ=づくり」ワークショップ 三重県女性部会企画担当

第3分科会「技・知・発・承～建築のわざ再発見」静岡県青年委員会企画

青年も女性も入り混じっての研修でした。

女性建築士協議会会議 16時10分～18時15分
今後の協議会の在り方など時間が足りない程話し合いがなされました。

懇親会 19時～21時



2日目 閉会式を先に行い掛川まちなみ見学会
10時～12時30分

見学先は掛川城、二の丸茶室(お抹茶をいただきました)竹の丸 報徳社大講堂 図書館
木造建築の宝庫であるお城の周りをたっぷり見学しました。



掛川城にて



二の丸茶室にて



改修中の竹の丸見学



■ 第2分科会

「モノモノ=みんなのトイレ=づくり」ワークショップ

下川 滝美

セントレアのバリアフリー化に関わられた株式会社連空間設計 まちづくり研究室主任研究員 森崎康宣氏の講演を最初に聞きました。セントレアの動く歩道について誰もが利用しやすい動く歩道にするための検証や企業努力についてのお話を興味深く聞きました。

次に多目的トイレQ&A ということで12の質問を解き、グループで答え合わせをして実際に体験するというワークショップをしました。

大便器まわりの操作系設備のJIS化についてや、実際の使いやすい寸法について、体験を通して確認できるような質問になっており講師の先生にもアドバイスをいただきとても有意義なワークショップでした。



モックアップによる検証

多目的トイレを再現して車いすから便器への移乗を体験しました。



手すりの位置もどの位置が適切かを体験を通して学習しました。



講師によるアドバイス。
「足、使わないでね！」
「結構腕に力がいらすね！」

講師の森崎さんは現在千歳空港のバリアフリー化に携わっているそうです。

■ 第3分科会「技・知・発・承～建築の技再発見」

伊藤 麻子

儒恋リゾートはとても広く、迷子にならないか心配しました。お天気はよいけど寒風の吹きすさぶ中、エキシビジョンホールの屋外ステージにブルーシートを敷き詰めてあり、ワークショップが行われました。3つに分かれて3箇所を順に体験していく方法で、私は

1. 瓦割り体験、ガイドライン工法の説明(静岡県瓦工事業組合青年部)
 2. 塗り壁体験、光る泥団子作り(静岡県左官業組合青年部)
 3. 鉋削りの実演、継ぎ手について(日本建築専門学校+静岡県建築士会青年委員会)
- と挑戦してみました。

瓦割ではいぶし瓦を昔ながらの方法である、タガネなどでけがいてその印の通りに割るのだと教えてもらったのですが、瓦の曲面に差し金で印をつける事さえまならず、図面を書くプロとしては情けなかったです。でもうまくパカッと割れたので気持ちよく、しばらく切り口を眺めていました。他には耐震性、耐風性に優れた新しい瓦での工法(ガイドライン工法)も紹介されていました。

次に左官部門です。泥団子はきれいな色合い(宇宙から見る地球みたい)のピカピカする魅力的な物なので、是非作って子供の土産にしたかったのですが、前のグループで結構時間がかかっているのを見て、それから過去に何度も泥団子作りは経験したけど、最後まできれいにできたことがなかった事を思い出してそれは諦めました。

左官壁塗り体験では以下の4種類あって、すべて天然の材料でした。

- ① 漆喰(消石灰、スサ(紙、藁)、海藻糊)
- ② 珪藻土(珪藻、粘土、消石灰、石膏など)
- ③ 糊さし(土、藁スサ、海藻糊、砂)
- ④ 並大津(土、消石灰、スサ)

これも当然簡単には塗れなかったのですが、それぞれテクスチャが異なり、またそれぞれの土の香りがして、興味深かったです。

最後の継ぎ手見本展示では始めて見るものも多く、これもまた興味深いものでした。かんな掛は人気があったようで、順番が廻ってきませんでしたが、これは経験したことがあり、やっぱりうまくできなかったのが、残念ではありませんでした。

いつも職人たちの仕事を見てはいますが、道具を触ることも憚られるので、今回ほめられ、励まされて体験できたことは実に貴重で嬉しいことでした。

■ 平成 21 年 2 月 22 日 (日) 晴れ
静岡大会 掛川市内見学会に 3 名参加しました

津川文江

掛川市二の丸茶屋

木造平屋建て、銅板一文字葺き、壁は聚楽土塗りの伝統的な数寄屋造りの建物です。茶室設計監理は京都伝統建築技術協会 理事長 中村昌生氏の作品で、10畳の広間と4畳半の小間(桔梗庵)と立礼席があります。



日本庭園を見ながらゆったりとお茶を楽しみました。

二の丸美術館

美術工芸品や近代日本画(横山大観)等を所蔵する和のたたくずまいの建物でした。

竹の丸(旧松本家)修復整備工事見学

竹の丸は掛川城の北部に位置し松本家は江戸時代より続く葛布問屋で掛川藩ご用達をつとめた豪商だったそうです。明治36年に築造され、主屋は桁行9間半 梁行7間の平家建てです。離れは、木造2階建、入母屋造り 檜皮葺きで主屋、離れいずれも近代豪商住宅の様相を今に伝える貴重な建物だそうです。6月には、工事が完了するそうです。



大日本報徳社

二宮尊徳の唱えた報徳思想の普及をめざし、全国に広まり、この活動が盛んだった掛川は、全国の中核地となり開設されたそうです。

大講堂大広間

明治36年に建てられた大日本報徳社の中心かつ象徴的な建造物で、わが国屈指の大規模近代和風建築です。



報徳図書館

大日本報徳社第二代社長の岡田良一郎の多大な遺徳を記念し、昭和2年に建てられた鉄筋コンクリート造の図書館です

掛川市立図書館

平成13年6月に開館した図書館で掛川城、二の丸茶屋等の近辺に所在します。1階は閲覧室 地下1階に会議室や多目的ホールがあり木材を多く使用した建物です。



掛川城

掛川城は、徳川親藩の松平氏や江戸城を築いた太田道灌の子孫太田氏など11家26代の居城としてさかえました。天守閣は「東海の名城」といわれましたが、安政の東海大地震により大半が損壊。御殿、太鼓櫓、落の門などの一部を除き、再建されることなく明治維新を迎え、明治2年廃城となりました。その後御殿は様々に使用されながら残りましたが、天守台や本丸の跡など一帯は、公園とされてきました。平成16年天守閣は140年ぶりに木造により再建されました。



掛川城御殿

城主の公邸、藩の役所、公式式典の場などとして使用されました。現存する御殿は、江戸時代後期に再建された建物で、全国で数箇所には残っていない貴重なものです。昭和55年、国指定の重要文化財に指定されています。午前中で、多くの建物を見ることができました。掛川市の観光名所は、掛川城だけと思っていましたが、まだ、知らないところが多くありました。



☆:☆。*:°☆。*:☆:☆。*:°:☆。*:°☆。*:

■ 編集後記

24号をお届けします。皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。また、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員

(社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

<http://homepage2.nifty.com/aba-gifu/>

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します